

令和 7 年 5 月 2 1 日
経済産業部経済課

令和 6 年度せたがや産業創造プラットフォーム「SETAGAYA PORT」の実績報告について

1 主旨

持続可能な地域経済の発展において、地域経済を活性化する新たな事業の創出や、地域及び社会課題の解決に向けたソーシャルビジネスの推進、さらに今後の地域経済を担う産業人材交流の促進を目的に実施しているせたがや産業創造プラットフォーム「SETAGAYA PORT」について、令和 6 年度の実績を報告する。

2 事業概要及び実績

(1) SETAGAYA PORT 登録者（以下、「PORT メンバー」という。）数

①LINE 登録：6,701 人（前年度増 1,956 人）

SETAGAYA PORT の取り組みやイベント、経済産業部の事業情報などの産業情報のアウトリーチ策として活用した。

②Synergy!（シナジー）登録者数：2,707 人（前年度増 707 人）

登録された年代や職業等の産業情報に加え、区で取り組みたい内容も登録可能。登録情報をベースに事務局で分析・把握を行い、協働の方法や仕組みの検討等を行った。

(2) 「SETAGAYA PORT HUB（セタガヤ ポート ハブ）」

ビジネスで課題を持つ人と課題解決ができる人とのマッチングや交流促進を図るプロジェクト。PORT メンバーとの面談を行い、新プロジェクトの立ち上げや PORT メンバー同士の連携等のサポートを年間を通じて行っている。

①セタガヤミライカイギ

PORT メンバーと面談・ヒアリングを行い、関心のある社会課題やスキルを聞き取った上で関連のある PORT メンバーやプロジェクトに繋げている。（約 160 名面談）

②BAR ニューウェーブ

参加者同士の新たなビジネスや事業に繋がる交流促進を目的に、区内の飲食店等を活用してカジュアルに参加できる交流会を実施した。（計 10 回、合計 277 名参加）

③SETAGAYAPORT YOUTH（セタガヤポート ユース）

区内外の大学生を中心とした若手のコミュニティを形成し、学生自らが企画したイベントを実施するなど、学生による自発的な事業実施に向けた支援を行った。

i 雑誌名刺発信基地（7 月 6 日（土）13:00～17:30）

名刺を題材とした新たな自己紹介方法の実験を BONUSTRUCK（下北沢）にてワークショップ形式で実施した。（参加者：17 名）

ii ガヤノバ（3 月 22 日（土）11:00～16:00）

学生の起業や事業の具体化への促進を目的に、大学生自身が企画・作成したオリジナルグッズの販売や、雑貨作り等の体験ワークショップイベントを SHIMO LAB.（下北沢）にて実施した。（来場者：延べ約 100 名）

(3) SETAGAYA SOCIAL LABO (セタガヤ ソーシャルラボ)

インクルーシブや自然環境など地域・社会課題解決に向けて、区内事業者やプロボノ等と共に、様々なイベントやワークショップを年間を通して実践している。

①体験型キャリアデザイン教室 (8月10日(土)14:00~16:00)

子どもたちが将来自分らしいキャリアを歩むための選択肢をより広く身近に考えられる機会創出を目的に、「SHIMOKITA COLLEGE (シモキタカレッジ)」にて体験型キャリアデザイン教室を実施。SHIMOKITA COLLEGE の入居者による「学びとキャリア」をテーマにしたプレゼンテーションや体験型ワークショップ等を行った。

(参加者：世田谷区内在住・在学の小学生 16 名/保護者 11 名)

②セタオーレーベル

区内福祉作業所で集音した生活音等を録音し、その音から PORT メンバーのクリエイターが楽曲を制作。音楽配信サイトなどで配信している。

(令和6年度は8曲をリリース、これまでに計18曲をリリースして累計約11万回再生されている。)

③エシカルマーケット (11月23日(日)11:00~16:00)

エシカル消費の認知拡大・行動促進につなげることを目的としたエシカル商品を扱う事業者によるマーケットイベント「Be Ethical Market」を三軒茶屋ふれあい広場にて開催し、21事業者が出展した。(来場者：延べ約1,000名)

④サスセタ (サステナブルなお店を巡るスタンプラリー)

リペアやリユースに取り組む店舗を巡りサステナブルな消費行動を促進することを目的に、せたがや Pay のデジタルスタンプラリー機能を活用し、11月8日~12月15日の期間でスタンプラリーを実施した。スタンプスポットとして25店舗が参加し、5店舗を巡った方の中から抽選で10名に3,000円分のせたがや Pay ポイントを付与した。(参加者：約500名)



体験型キャリアデザイン教室の様子



エシカルマーケットの様子

(4) SETAGAYA NEW WAVE (セタガヤ ニューウェーブ 2月11日(火・祝)13:00~17:00)

世田谷に新たな波を引き起こす次世代の起業家やビジネスを応援する事業。

令和6年度は世田谷で地域課題・創る力・キャリア選択などをテーマに、魅力ある産業を生み出している区内外で活躍する6人の登壇者によるプレゼンテーションとトークセッションを世田谷区民会館にて行った。イベント終了後は登壇者も参加するアフター交流会も実施した。

(申込者数：167名、参加者数：90名、アフター交流会参加者：43名)



プレゼンテーションの様子



トークセッションの様子

- (5) セタ・コ・クリエ（ソーシャルマッチング事業）（3月10日（月）19:15～21:00）
 地域課題をテーマにしたマッチングプログラムを企業や大学等と協働する事業。
 令和6年度はコミュニティの希薄化を題材に、エンターテインメント産業に携わる舞台制作会社である「㈱アメツチ」と協創し、地域事業者や学生等のプロボノも交えて企画を制作し、トークセッション（登壇者3名）やワークショップ、加えて、舞台を使用した即興劇を北沢タウンホールにて実施した。（参加者：25名）
- (6) 区内事業者との協働実施事業（2月17日（月）19:00～21:00）
 地域社会課題と区内事業者の課題を組み合わせた実証実験型ワークショップ。
 令和6年度は区内飲食店 MANOS（創作カレー店）と協働し、レトルトカレーの防災非常食としての販路拡大をテーマにしたワークショップ「世田谷彩味堂（セタガヤサミット）」を開催した。（参加者：11名）
- (7) 事業の決算見込み額
 ①事業運営委託料：24,205 千円
 ②イベント保険料： 65 千円

3 令和7年度の取組みについて

引き続き令和6年度の取り組みをベースに、各プロジェクトを推進していくとともに、区の産業活性化拠点である「HOME/WORK VILLAGE」と連携し、地域経済を活性化
 する新たな事業の実施や、地域及び社会課題の解決に向けたソーシャルビジネスの促進等
 に取組み、地域経済を担う様々なステークホルダーを創出していく。

補足資料 SETAGAYAPORT 実績の過去事例

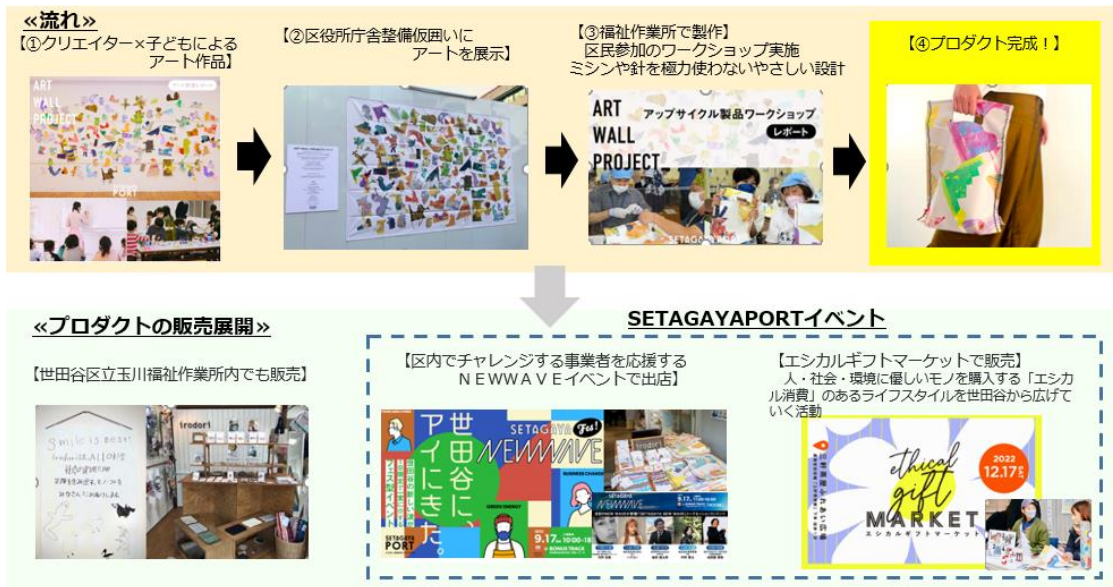
※以下事例はいずれも PORT の登録をきっかけとして事業化に至ったもの

1 SETAGAYA SOCIAL LABO 「ART WALL PROJECT」(令和4年度実施)

クリエイター (PORT メンバー) と子ども (区民) たちが作り出したアート作品 (不要な包装紙等を活用して作品を作るワークショップ) を活用して、工事用フェンスに作品を掲示。作品はその後、区内福祉作業所でエコバッグの材料に転用された。製作したバッグを作業所だけでなく PORT イベントを通じて販売することで、地域での循環の創出に繋がった事例。バッグの販売チャンネルを増やすことで、作業所の取り組みそのものを区民の方に知ってもらうことにも寄与した。

(開催日: 2022 年 12 月 11 日(土)13:30~18:00 参加者: 区内在住在学の小学生 26 名)

《事業展開の過程》



2 SETAGAYA SOCIAL LABO 体験型キャリアデザイン教室 (令和5年度実施)

デジタルの世界でファッションをデザインするという「デジタルファッションデザイナー」という職業を通じて事業を認知させたい事業者が、PORT の登録をきっかけに子ども向けのワークショップの実施に繋がった事例。デジタルファッションデザイナーの仕事内容の説明と体験コンテンツの二部構成で実施し、子どもたちにこれからの社会で必要とする技能や心構えと、将来の選択肢を拡張する場を提供した。

(開催日: 2023 年 8 月 26 日(土)13:00~16:00 参加者: 区内在住在学の小学生 16 名)

＜募集ページ＞



＜教室風景ページ＞

